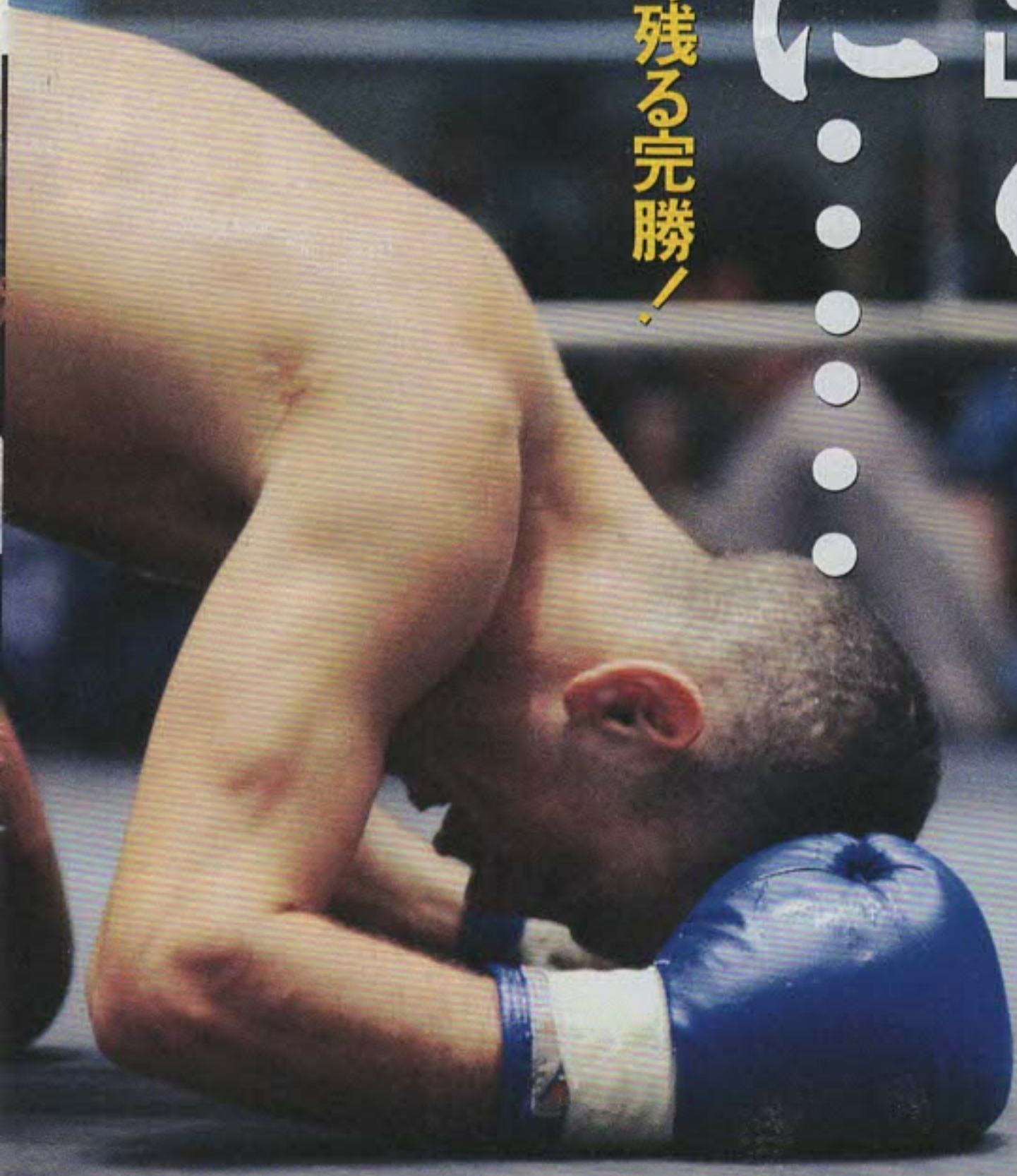
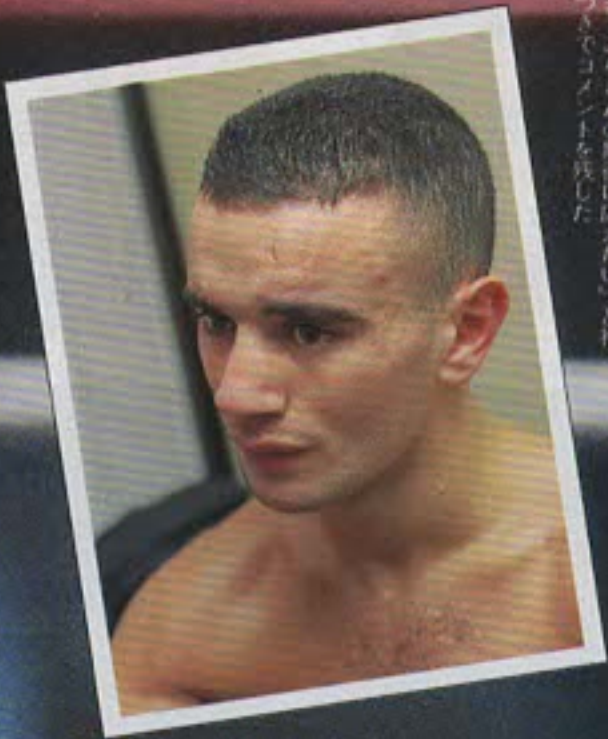


「こんなんなモ」 なのかかの 裏側に……

期待のトトフ、不満の残る完勝！

トトフは試合後、四方にむかって頭を下げてトトフ。これは興奮に誇りを感じているだけではなく、自分の実力がある。トトフは試合後、勝利には満足していたが、「クリンチが多すぎて、観客のみなさんは満足できなかった。次、またチャンスがもらえるなら是非、みなさんの期待に応えたい」と悔しげな顔つきでコメントを残した。



●日本・フランス国際戦／63kg契約3分5R(第14試合)
○トトフ(フランス 62・5kg、22歳)
●(5R判定、2-1-0) 日本点 50-50、49-50、47
●井上 哲(山本ジム所属、62・5kg、30歳)
◎日本・日本ライト級一位



MA日本キックボクシング連盟
REVOLUTION
キックに火を点けろ!! SET FIRE!!
2月21日 ● 東京・後楽園ホール

「観るのが」きつかったね。トトフって、こんなモノなの？」
昨年12月に行われたタイでの彼の試合を絶賛した筆者は、何度となく、こんな言葉を掛けられた。ハッキリ言おう、こんなモンじゃない。ただ、トトフが井上哲を下した試合後に、声を大にして言う気にはなれなかった。



○ローのカットや、ミドルをキャッチするディフェンスにその実力の片鱗(へんりん)はうかがえた
○組み合った状態がひじょうに長かった、この試合。トトフの首相撲について、井上は「上手いです。いつも有利なところに立っていました。ヒザの入れ方も、横から真っ直ぐで、効きました」

○「一番効いたのは、パンチでした」と井上は語ったが、ワン・ツリーの次が歌しかった
○負傷している右足で、何発かワン・ツーとのコンビネーションでローを放ったが、芸術的な足払いは見られなかった



ジャッジ	石川		小林		松田	
	井上	トトフ	井上	トトフ	井上	トトフ
1 R	10	10	10	10	10	10
2 R	10	10	10	10	10	10
3 R	10	10	9	10	9	10
4 R	10	10	10	10	9	10
5 R	10	10	10	10	9	10
計	50	50	49	50	47	50



トトフの日本デビュー戦が、どんな試合になったかは、彼の試合後のコメントからも推測ができる。「次のチャンスが貰えるなら、皆さんが満足する試合をやりたい」プロとして、観客を納得させる試合を心掛けてきたトトフにとっても、この夜のファイイトは納得できないものだったのだ。

とにかく闘う二人の距離が縮まり、数発の拳、蹴りが交錯すると、すぐに組み合って、膠着状態が続く。好試合か凡戦かと問われれば、後者であることは否定できない。タイ人を足払いで、何度も何度も転がしていた華麗なトトフと、同人物とは思えない。トトフの攻撃を警戒するあまり、井上の手数が極端に減ってしまったのも事実だが、それを切り崩してこそ、真

の実力者というものの。何がタイで観たトトフと違うかという点、それは右足の蹴りが、ほとんど出なかった点につきる。ハイやミドルもそうだが、対戦相手の蹴りに合わせた絶妙な足払いを、ついぞ一度も見られる機会は訪れなかった。

それでも、トトフに対して井上は、こんな印象を語っている。「何もできなかった、というか何もさせてもらえませんでした。ヒジは入るかと思っただんですが、怖くて入れなかったんです。やらなきゃいけないことは、分かっているのにできなかった。ただ、それでも調子はあんまり良くなかったんじゃないですか。これが本来の力なら、日本にも勝てる選手はいますよ」

本来の力……、トトフは12月のタイの試合で負傷した右足甲を来日直前に再び傷めていたのだ。来日後、訪れた藤原道場での練習でも、常に足の状態を気にしていたという情報もある。



引退を決意した港太郎、ソルジャー緒形に勝利するも、苦笑い

●メインイベント / 75分契約3分5R (第16試合)
○KOF世界ミドル級王者
○港太郎 (山本ジム所属、73・0、31歳)
○(5R判定、3-0) 出撃点 50・47、50・45、50・45
●ソルジャー緒形 (花澤ジム所属、73・0、28歳)
○MA日本ミドル級王者

●終始圧倒し続けての勝利を飾った港だが、「ハイでKOしようと思っすぎてスタミナが切れ、思うような闘いが出来なかった」と苦笑い。「引退前に、村上竜司選手やチャンプアと闘いたい」と話す港は、4・24後楽園大会で永田健一戦が予定されている

